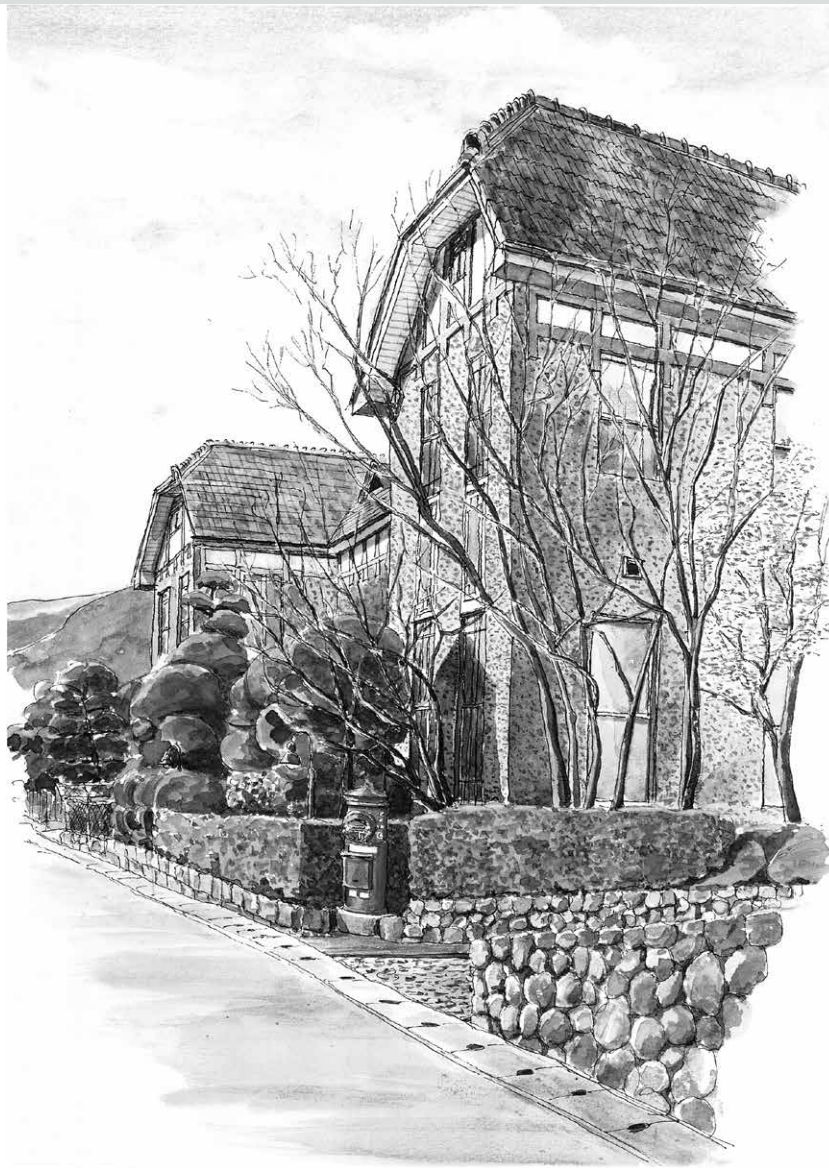


建築士

# おおた

秋季号

2023 NO 131



公益社団法人 大分県建築士会

# CONTENTS

01 公益事業の成果	臼杵支部 板井 優也 佐賀関支部 上田 亮
04 斗拱考	日田支部 養父 信義
08 九州ブロック 建築士の集い佐賀大会に参加して	大分支部 甲斐 啓大 臼杵支部 足立 洋平 中津支部 前田 篤史
14 グリーン化推進委員会報告	グリーン化推進委員会 松井 健児
15 建築士の絵画展	別府支部 浅野 健治
16 インフォメーション(支部便り)	大分支部 未成 祐二 豊後大野支部 工藤 健治 中津支部 山村 増治 佐伯支部 志賀 智昭 高田支部 後藤 憲二
20 マイワーク	大分支部 花宮 亮 大分支部 宇都宮 想 別府支部 今橋 周作 別府支部 幸 康史
22 マイベストブック	臼杵支部 三重野 豊 佐伯支部 福井 大輔 豊後大野支部 首藤 陽蔵 高田支部 後藤 憲二
24 我が街の建築士紹介	玖珠支部 宇野 隆磨 中津支部 村上千由紀
25 近況トピックス	佐賀関支部 渡邊 豊基 佐伯支部 井上 一則
28 マーポーの旅先日記	顧問 井上 正文
31 事務局だより	大分県建築士会事務局



## ■ 表紙説明 ■

表紙のイラスト

野口病院

設計：別府支部 新山 俊則

### 白杵支部 板 井 優 也

白杵支部では7月の公益事業として、折り紙建築と建築よろず相談会を同時開催いたしました。

例年は駅構内にて作品展示を行う傍ら、折り紙建築の形態を採ってきましたが、今回は相談会を行う事もあり、少し落ち着いた場所に会場を移しての開催となりました。

折り紙建築最初のお客様は、小学校2年生でした。カッターの使い方がとても上手で、安心して見守る事ができました。ただ、「真っすぐに切る」事が上手いかないようで、それに私はとても既視感を覚えました。

自分が小学校に上がってすぐの頃だと思うのですが、真っすぐ切る事が思うようにいかず、大層悔しかった記憶があります。

力を入れなければ紙は切れず、逆に入れすぎるとマットに食い込んで刃が進まない。定規を当ててもなぜか切り口が歪む、といった具合です。

数をこなせばきっとコツを掴むのでしょうが、この紙を切るという工程は、何かの成果物を作るためにやっていることなので、「パーツを切ったら終わり」の作業にそこまでの熱意を(当時の私は)掛けません。つまりレベルアップに必要な経験値がなかなか溜まらないわけです。

身体が成長して指先の力がつけば、抜く調整もできるようになりますが、小さい手ではグリップの保持にもそれなりに力を使います。加えて手元の刃が錆びていたり丸まっていたりした日には、もう万力を込めて切るしか手はありませんでした。

あれから10数年後、建築系の大学に進学した私は、模型を作るために嫌というほどカッターを使い込みましたし、当然使い方も研究しています。

そんな今の私なら、目の前の子(かつての自分)に何かを伝えられる…気がしたのですが、その子の熱意にも、もう一度既視感を覚えたところです。

むしろ、ひよっとすれば彼は私よりも数段上手で、自分の感覚と身体の手をしっかりと受け止め、手持ち札での成果を確かめたいと願う、根性と見込みのある子だったのかも知れません。

そういう拘りも嫌いじゃない、とメンディングテープを片手にリカバリー職人に徹する事とし、将来同じ建築業界で働けることを願ったところです。

少し話は飛びますが、以下は誰かの受け売りです。

「危なさを理由に遠ざけていたら、いつかそれを使う時に危険がより大きくなる。」「危なさを理解していなければ、その危なさを自分の大切な人に伝えることができない。」「その危なさを理解していない人ばかりになれば、より多くの人々が危険な目に合う社会になる。」遊び方でも道具でも、同じことが言えるのではないのでしょうか。個人的に刺さった話でした。

そういえば、カッターの使い方は学校で教わるものなのではないのでしょうか。家では結構な年齢まで「危ない」といって遠ざけられる気がしますが、先の話もあり、ケガをしない使い方を早く教える方が重要だな、と最近では考えるようになりました。私自身、幼稚園の時には刃物を使ってみたいという思いが芽生えていましたので、自分の子がしっかり興味を持った時には一度握らせてみても良いかな、と思っています。

本事業の前日に見本の折り紙を作る傍ら、OLFAのホームページで「正しいカッターナイフの使い方」を確認しました。自分の使い方が間違っていないことに安堵しつつ、その際に、「キッター」なる子供向けのカッター商品がラインナップされているのを見つけました。大怪我をしないように設計された、カッターナイフのエントリーモデルのようですね…これは買いです。

話が散らかりましたが、折り紙建築の際に頭に浮かんだカッターナイフの話でした。

※カッターの持ち方は大きく「鉛筆持ち」と「指差し持ち」(正式な呼称は知りません)に分かれると思いますが、私は指差し持ちが好みです。



### 佐賀関支部 上田 亮 佐賀関自主防災訓練について

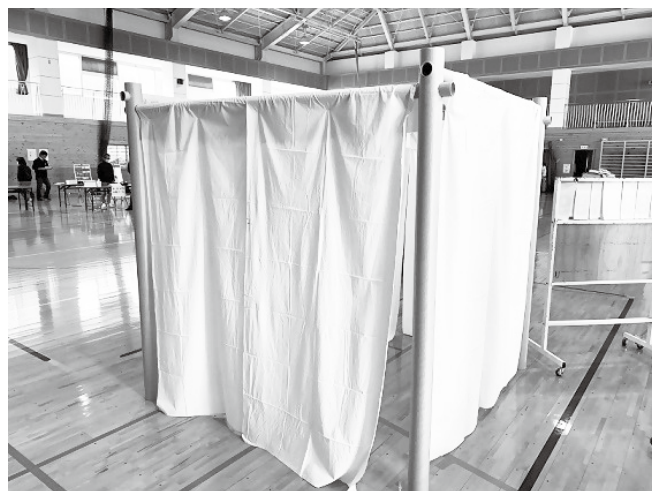
2011年3月11日に東日本を襲った大地震から12年後の2023年3月11、12日に佐賀関で行われた防災避難訓練に参加してきました。



この訓練は、東部・佐賀関地域振興協議会が主催し、国土交通省や自衛隊、大分県、大分市、建築士会等が共催しての防災避難訓練であり、南海トラフの地震により国道が寸断され帰宅移動困難者が発生したことを想定したものです。大分市立佐賀関小学校の体育館を避難場所とし、今後30年以内に発生する確立が高いと言われている南海トラフ地震発生後の72時間をどう生き延びるかとして、自分たちに何がで



きるか、何をしておくべきかを考えるきっかけになればと行われたこの訓練には、70人ほどの参加者が

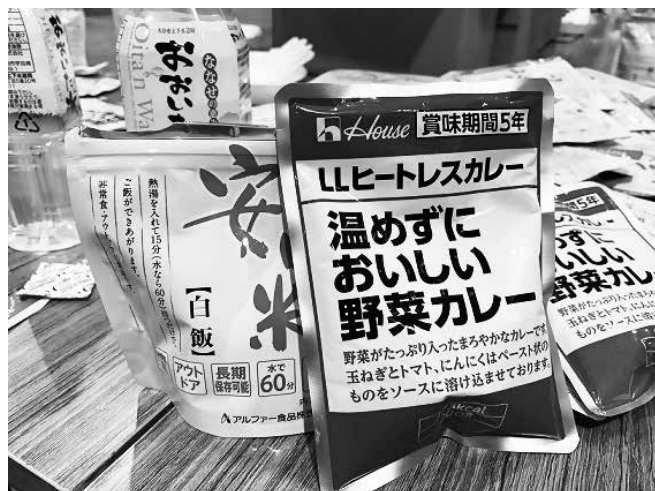


集まりました。

今回の避難訓練では、大分県内で3つの初めての取り組みがあり、①実際に宿泊を伴う避難訓練であること②建築家の坂茂氏が考案した紙管で作成する間仕切りの使用③帰宅困難者を想定した訓練・自衛隊の炊き出し等、実際に災害が起きた時の自らの行動や周りとの連携を体感できるプログラムが組み立てられていました。

その中で、建築士会としては、防災委員会リーダーの渡邊豊基氏による講話を行いました。「我が家の防災対策」という題目で、応急危険度判定など災害時に建築士会としてどのような支援活動を行うかや、自らの住家について今のうちから行える対策としてどのようなものがあるかなどを話して頂きました。特に佐賀関は住宅が密集しており、なおかつ耐震化の進んでいない家屋も多いため、災害が起きた際には避難も困難になってしまう可能性が高く、佐賀関





に住む参加者の方は特に真剣に話を聞いていました。

講話はそのほかにも、大分河川国道事務所の方の災害時の活動内容やハザードマップについて、命を守るための講話として自衛隊の方がロープや身近なものを使用した人を運ぶ方法や、怪我をした際の応急措置の方法など、知らないと実際に行動できないような話を多く聞くことができました。

11日の夜には保存食のカレーとアルファ米が配布されました。水だけで調理ができるということで、私を含め数人は実際に避難したことを想定して冷たいカレーライスを食べていました。1日の空腹もあってか、想像よりも美味しく食べられました。

そしてそのまま他の参加者と体育館で一夜を明かしましたが、やはり周りで眠る他人のいびきや寝返りの音など、ゆっくり眠れるような環境ではありま

せんでした。今回の私たちは「翌日には帰ることができる」という安心感によってある程度は眠ることもできましたが、これが実際に避難している環境であるとすれば「いつ帰られるかわからない」「家族の安否が心配」など大きな不安に襲われてゆっくり休むなんてことはできないだろうと強く感じました。

今回の避難訓練を経験し、災害が起きることが避けられないことが分かっている状況の今、その時が来た時のために備えて万全な備えを行うことの重要性を身に沁みて感じました。また、建築士会としても災害時の支援をする準備を整え、かつ災害が起きても被害を少しでも減らせるような活動も行っていければと感じました。



# 斗 椽 考

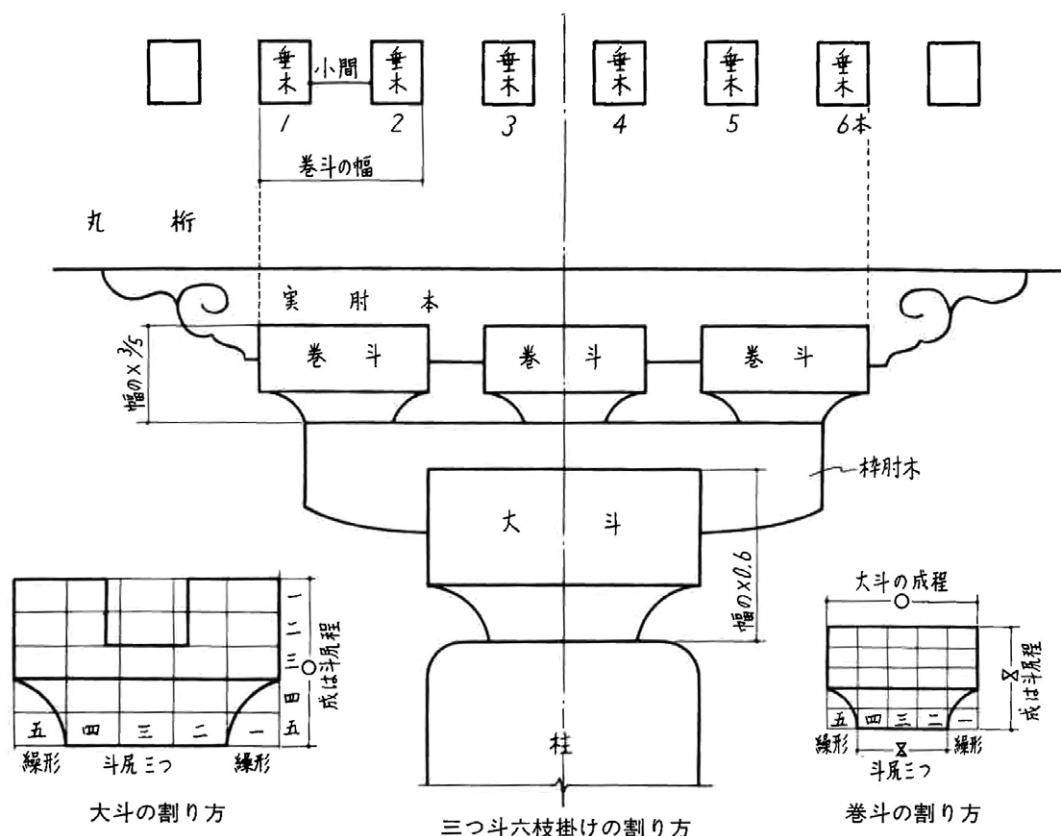
日田支部 養 父 信 義

斗椽とは、社寺建築で軒下・縁の下や室内の天井下に生まれ、柱の上や柱の脇を飾っています。呼び名は、「トキョウ」と読みます。[斗組（マスグミ又はトグミ）・組物] などとも言います。斗椽の斗は、枳形（マスタ）とか斗形（トガタ）と呼ばれる「枳（マス）」で有る。椽は、肘木（ヒジキ）であり斗や枳を乗せる長方形の舟型の角材です。

これ等を組み合せて深く持ち出した軒や屋根を支える構築物である。装飾的にも古来から、中国・韓国・日本へ伝わり、時代と共に発達、変化している、また、各地方でもそれぞれの特色がある。

## A、斗、肘木の種類

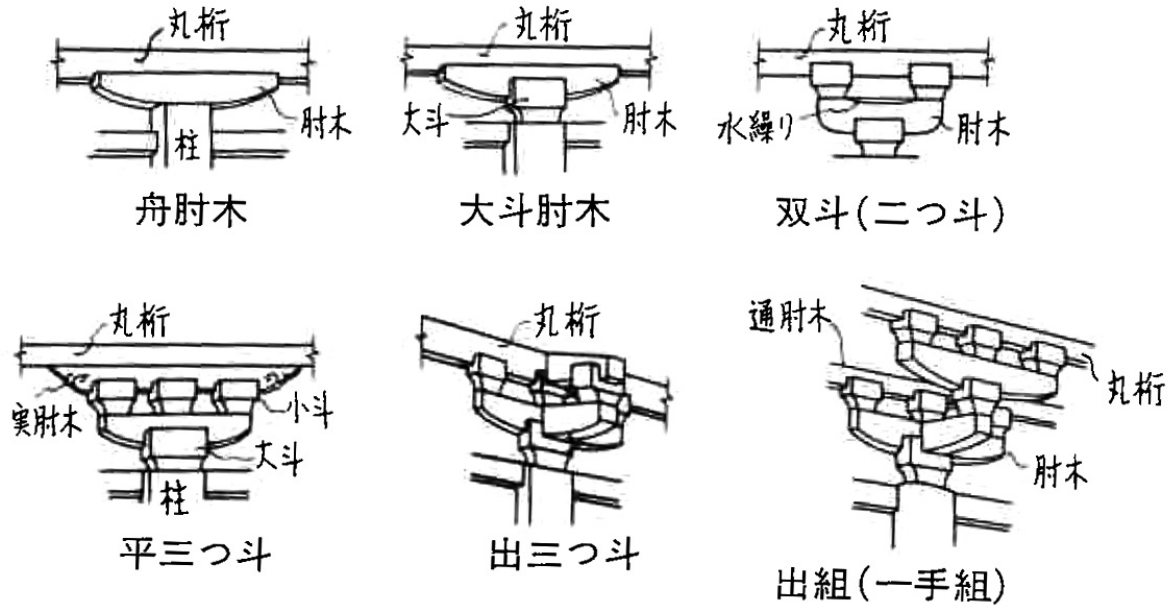
- \*大 斗（ダイト）…柱頭に乗る、柱幅と同寸、成はその0.6倍。成の下部2/5を削る、斗尻巾は斗巾の3/5.
- \*卷 斗（マキト）…肘木に乗り、巾は垂木2本に小間分、成は巾の3/5。斗尻は肘木巾と同寸。平面は長方形が多い。
- \*枳肘木（ワクヒジキ）…巾は大斗巾の1/3程度、成は巾の1.2倍。
- \*実肘木（サネヒジキ）…巾は枳肘木と同寸、成も同寸程度。鼻の出は卷斗巾で雲型彫刻。
- \*雲肘木（クモヒジキ）…絵様肘木（エヨウヒジキ）
- \*隅肘木（スミヒジキ）…建物の隅柱に付く。
- \*隅 斗（スミト） 鬼 斗（オニト）…隅肘木の鼻先に乗る。巾は卷斗の1.1倍、成は卷斗と同寸
- \*延 斗（ノベト）…巾は卷斗と同寸、長辺は卷斗裏目寸法。
- \*方 斗（ホウト）…卷斗の長辺と同寸角型。肘木の交差部に乗る。
- \*皿 斗（サラト）…巾は大斗と同寸、成は卷斗と同寸。



略図1 三ツ斗六枝掛け割付

B、一般的な組物の種類

- \* 舟肘木…此肘木で丸桁（ガギョウ＝桁）を支える組物。
- \* 大斗肘木…大斗（ダイト）に肘木を乗せ丸桁を支える組物。
- \* 双斗…大斗・肘木・二つの小斗（＝巻斗）で丸桁を支える。（鎌倉時代頃現れる）
- \* 平三つ斗…大斗・肘木・巻斗三個で丸桁を支える組物。
- \* 出三つ斗…平三つ斗の中央の斗を前方に持ち出す組物。
- \* 出組…深い軒を持ち送り式の組物で支える。一手先・二手先・三手先とある。



略図2 各部名称

C、隅肘木の納まり

隅柱大斗の上の枳肘木は、縦横交差部を相欠きにして納める。よって、交差部は肘木成の1/2づつに加工する。切り妻造りなら、このまま隅木や隅肘木は、不用であるが入母屋造りや方形造りは隅木・隅肘木を組まねばならないので隅肘木を乗せる。近代・現代では、枳肘木も隅肘木も上端を同レベルに納め、交差部の厚みを1/3づつに加工している。処が、隅肘木の上端が同レベルでなく、1寸～1寸2分程度上がって組まれる、建物の規模によっては2寸も上がっているものもある。福井から阿蘇神社に来ていた宮大工に聞いた処「そんな事例は知らないし、なぜそんな難しい事をするのか？」との言であった。つまり、令和5年3月に修理の終えた阿蘇神社も同レベルで組まれている訳である。そこで熊本の一部を調査し、現在は大分を調査しだした処である。



写真1 隼鷹天満宮



写真2 木山神宮

以下その一覧表を記す。

熊本県

社 寺 名	年 代	大 工 名	所 在 地	備 考
国造神社	1672 (寛文12)	不詳	阿蘇市一ノ宮手野	願主、細川三代藩主綱利
隼鷹天満宮	1697 (元禄10)	松尾傳助平政重	阿蘇市内牧的石	同上願主。大工中村長左衛門
中島日吉神社	1701 (元禄14)	秋山平右衛門	大津町中島	妻に力神有。大工高田孫三郎
伊萩二宮神社	不詳	不詳	菊池市旭志伊萩	妻に力神有
岩本菅原神社	不詳	不詳	菊池市旭志弁利	妻に力神有
木山神宮	1752 (宝暦2)	北原源八郎	益城町木山	腰組有
津森神宮	不詳	不詳	益城町積り	腰組有
窪田日吉神社	不詳	不詳	大津町窪田	腰組有
窪田阿蘇神社	不詳	不詳	大津町窪田	腰組有
内牧乙姫神社	不詳	不詳	阿蘇市内牧乙姫	腰組有
木崎荒帆神社	不詳	不詳	益城町	
左之目八幡宮	不詳	不詳	益城町	
常楽寺観音堂	不詳	不詳	益城町飯田山	
中原神社	不詳	不詳	御船町田代	
清水若宮神社	不詳	不詳	菊池市七城	
万成神社	不詳	不詳	小国町	

大分県

日田石井神社	1740 (元文5)	原田辰右衛門首敏	日田市石井1丁目	拝殿
柞原八幡宮	1759 (宝暦9)	不詳	大分市	楼門
霊山寺	1638 (寛永15) 文献による。	矢野長左衛門尉 橋家増	大分市	楼門

D、私 見

これまでに熊本県で隅肘木上りの16物件をピックアップした。この他に宇土市の「光蓮寺」、宇城市の「波多神社」「祇園社」「戸馳神社」「豊福阿蘇神社」、八代市「八代宮社殿」人吉市の「老松神社」、菊池市の「菊池神社」「阿蘇北宮神社」同市弁利の「乙姫神社」、甲佐町の「甲佐神社」、西原町の「宮山神社」、御山町の「山神社楼門」、八女市の「福島八幡宮」、小国町の「小国両神社」「蔵園大神宮」「鉾納神社」を調べる。

大分県では日田市を中心に以下の物件も調べる。「岳林寺山門」「長福寺山門」「大原八幡宮」「元宮神社」、天瀬町の「鞍形尾神社 (クラガトウ)」「金凝神社 (カナゴウリ)」「出口老松神社」「台神社」大山町の「小五馬天満宮」「烏宿神社 (ウシュク又はカラストマリ)」、など等である。以上の物件は、隅肘木が柞肘木と同レベルであった。

一覧表の物件を考察する。まず、形態等から考える。



妻壁の大瓶束（棟持柱）に力神（力士像）が取り付け、棟木を支えている状態と思える。1701年上棟の「中島日吉神社」と「伊萩二宮神社」[岩下菅原神社]の三社が有る。所在地も旭志町と大津町と隣接の町である。又、拝殿の天井が中央一間×半間の枠囲いに格天井を組み周囲にそれぞれ繁垂木を流すなど、唐様茨垂木等の化粧天井にしている点も同様の造りで有り、同じ頃の築年代と宮大工系列も同じではなかろうか。



写真2（中島日吉神社） 力士像

次に、「木山神宮（1752年）」「津森神宮」[窪田日吉神社]「窪田阿蘇神社」は、三手先組軒と腰組を付け豪華な彫り物で装飾された点など、益城町と大津町と所在地も近隣である。

これ等も亦同一系統の大工の作であろうか。阿蘇内牧の乙姫神社は腰組が付き、一手先組軒と前社とは多少の違いが見られ、所在地も阿蘇と少し遠く、別系統の大工で有ろうが築年代は同じ頃と思える。

小国町の万成神社は、小国町の宮大工の手に掛る物と思う。隅肘木の見付幅が枡肘木の1.3倍と広く、大斗の枘は上部が広い「バチ」に成っている。柱頭には台輪が廻り、拝み懸魚は「貝頭」、降り懸魚は「カブラ」と異なる。また、棟飾りの「千木」が棟の中央にも構えられ異彩を放っている。阿吶の象鼻は像形も美しく足付で仕上げる。蛙股は小振りであるが中央を刳り抜き実肘木と一体を成し、肥後の国の神社の宝暦から天明期（1750～1780）頃のものと同様である。

「国造神社」と「隼鷹天満宮」は築年代もはっきりしているし、願主は「細川三代藩主綱利」で有る。[国造神社]の大工は不詳で有るが「隼鷹天満宮」は熊本肥後藩の仕事で2名の作事奉行と大工棟梁[松尾傳助平政重]大工「中村長左衛門藤原皆吉」の名が棟札に記されている。藩お抱えの工匠と考える。

その他の社寺も造作や彫刻などから見ても、18世紀中頃の築年代と思える。また、隅と枡肘木が同レベルの社寺では、宇土市光蓮寺、宇城市の波多神社、祇園社、戸馳神社、菊池市の菊池神社は、宇城三角町在住の宮大工「榊原佐八」とその息子たち[西山一門]の作品である。その装飾・彫刻は建物全体を覆い、豪華絢爛の社寺では有る、熊本、長崎、鹿児島と活約し、幕末から明治、大正、昭和期の造作である。

大分県の三社は、17世紀から18世紀中頃と年代もはっきりしている。大分市方面は、これからの調査に期待したい。日田地区の年代の判明している神社は、鞍形尾神社の1759（宝暦9）年。元宮神社の1760（宝暦10）年。大原八幡宮の1794（寛政6）年。烏宿神社の現在の建物は昭和4年である。石井神社の神殿は、1715（正徳5）年で、拝殿の1740年より25年古い。隅肘木上りでは無い。大工棟梁が甘木村（現福岡県甘木市）竹田善太夫とある。これにも荘厳な彫り物がセットされている。

以上、限られた地域の一握りの社寺を調査したものであるが、隅肘木の上り技法は、18世紀中頃まで（1760頃）で、これ以降の建物からは発見できていない。また、地域性や大工系列も考えられる要素も有ると思える。熊本は、肥後藩お抱えの工匠系列によるものか？大分は豊後大友に付いてきた宮大工矢野一派の系列も考えられるが、この物件数で断定する事は早計であろう。年代区別・地域限定・大工系列と、これからも調査を続けて行かなければ…。

\*参考文献…社寺建築の工法。佐藤日出男著

以上

## 建築士の集い 佐賀大会に参加して

大分支部 甲 斐 啓 大

6/24 (土)に建築士の集い佐賀大会in嬉野に参加をしました。前日の九州ブロック青年・女性建築士協議会の前夜祭を含めて、2泊3日の佐賀滞在でした。私自身、建築士の集いに参加をするのは初めてでしたが、大会を通じて以下のような気付きを得ました。

- ・大分県内の建築士会員の方との交流。普段話せないような方々とも話ができ、交流を深めることができました。また、仲間との旅はかけがえのない思い出となりました。
- ・九州の他の建築士会員の方との交流。各県ごとに地域性があり、自分たちの普段の活動へフィードバックできるお話を聞くことができました。
- ・佐賀を知る旅、そして建築士とめぐる建築の旅。特に地元の方のより詳しい解説を聞くことでより深く学びを得ました。

まずは6/23 (金)に、前夜祭に参加をしました。翌日の朝から行われる九ブロ会議に来られる九州一円の建築士の方々が約40名参加されていました。今大会の運営陣の佐賀県建築士会の方々のお話をはじめ、他県の建築士会の地域性や活動・雰囲気などを知ることができた貴重な夜でした。

6/24 (土)の午前中は九ブロ会議に参加をしました。

来年の宮崎大会の建築士の集いのプログラム案の確認や、会員増強についてなど、様々な議題について会議を行いました。

午後からは建築士の集い佐賀大会に参加。SUEPが設計された嬉野市社会文化会館（リバティ）で行われました。計429名の建築士会員が集まった会場はとても活気がありました。

九州各県の地域実践活動では、野口さん・小田部さんが建築キッズボランティアガイド育成事業についての発表をされました。夕方の結果発表では、同率一位でじゃんけんとなり惜しくも全国には行けませんでした。とても良い活動発表でした。

本当に惜しかった。

その後、分科会へ。私は第一分科会「長崎街道の宿場町・塩田津町並みめぐり」に参加をしました。



最初は【嬉野市塩田中学校】の見学へ。会場のリパティに隣接しており同じくSUEPの設計で、水害対策の為に高床式を採用した中学校です。水害の多い地域な為、災害時のシミュレーションを重ねて水を貯める場所などを意図的に設定した配置計画となっています。実際、令和に入り50年に一度の水害を受けたが、大きな被害なく学校を再開できたそうです。

その後【塩田津（伝建群保存地区）】の見学へ。昔の資料を頼りに、復元や修景などの手法を用いて歴史と文化を感じられる街並みが並んでいました。当時の建物を保存しているだけでなく、建物をリノベーションしてカフェとして活用されているなど、保存と活用のバランスが絶妙でした。

夕方は嬉野温泉駅前に移動をして意見交換会に参加しました。屋外開催でしたが天候にも恵まれて、会場では足湯に入ったり地元の日本酒を飲みくんだり嬉野温泉を堪能できました。

集いはここで終わりですが、翌日6/25(日)は大分の仲間とともに佐賀周辺の建築を見学しながら帰路につきました。

来年は宮崎県で開催予定です。建築士個人だけでなく、家族でも参加しやすい集いを計画しているそうですので興味のある方はぜひ参加されてみてはいかがでしょうか。



## 建築士の集い 佐賀大会に参加して

臼杵支部 足立 洋平

6月24日(土)に佐賀県嬉野市で開催された、九州ブロック研修集会「建築士の集い」佐賀大会に参加をしました。今回は臼杵支部の何年かぶりの研修旅行も兼ねてという事もあり、土曜日当日はもちろん、一泊しての日曜日の佐賀の建物見学までを行程として組みました。コロナが五類に入ったという事で、多くの支部会員の参加を見込んでいたのですが、最終的に7人参加という事で、レンタカーを借りての参加となりました。朝7時に臼杵市を出発したので



ですが、行程作りをグーグルマップ頼みにしていたため、到着時間等心配はありましたが分単位で正確なのにビックリ！余裕をもって現地到着し、開始前の時間で後に分科会で見学する塩田津の中にある古民家レストランで昼食を取り会場へ。

私自身は9年ぶりの集い参加なのですが、やはり会場の活気がすごい！九州だけでもこんなにも建築



に携わり頑張っている方がいると思うと、こちらも身の引き締まる思いでした。地域実践活動では、各県とも熱のこもった発表があり（大分県の「建築キッズボランティアガイド育成事業」は最注目なしに良い発表でした!!）、自分でも考えもしないような建築のアプローチを勉強させて頂きました。

活動発表後は各分科会に分かれたのですが、私たちは第一分科会の塩田津町並みめぐりを選択しました。臼杵市も歴史的建造物や景観に配慮した町並みを心がけて活動をしておりますので、塩田津の西岡家住宅などを見学して、造りの違い、仕上げの違い等々…地域が変わればやはり全然違うなあ…と、我が町と重ねながら散策させてもらいました。また、潮の干満の差により川港として栄えていた事、頻繁に発生する洪水対策として1階部分をピロティとし、貯水機能を持たせた塩田中学校など、良くも悪くも川（潮）と共に過ごしてきた町であることが認識できました。



塩田津を後にして、お待ちかねの意見交換会の会場へ。雨もどうにかやり過ごせ、嬉野温泉駅の前の屋外広場には総勢300名を超える方がすでにワイワイ。テーブルにはオードブル、見渡せばキッチンカーやその他色々…スゴイ！せっかくの交流会の場です。大分の知っている方との交流、また県外の初めて会う方との交流、今年のしずおか大会のPRに来ていた静岡県建築士会の方との交流、トークも進みお酒も進み、大変楽しい時間を過ごさせて頂きました!! 地域実践活動ですが、なんと大分県と福岡県が同率1位という事で、「じゃんけんで決めまーす」、との発表。結果はどうであれ1位だった事には変わりありません。たとえじゃんけんで負けても。(青年委員長ドンマイです。。。)



2日目は支部の研修旅行です。朝からシーボルトの湯につかり前日の疲れを癒し、武雄温泉街へ出発です。小雨の降る中武雄温泉楼門・新館の見学、道



路向かいにR壁と軒の深い板金屋根が特徴的なカフェ。歴史と近代の融和?調和?フムフム、と勝手に考えながら豆腐パフェをペロリ。そのまま近くの武雄図書館へ。図書館内部は大変開放感があり、市民の方の集いの場になっていることがうかがえました。なにせ人の多いこと。スパンの長い登り梁をプレスでテンション効かせて下がらないようにして…なんて考えていたら時間が来てしまいました。長時間滞在しても全然飽きない場所で、ぜひまた訪れたいです。

武雄を離れ、次は佐賀市の方へ移動しました。県庁の展望レストランで昼食を頂き、その後は、2時間ほど自由時間として県庁の周りの市村記念体育館・佐賀県立図書館・佐賀城跡・佐賀県立博物館等を見学しました。佐賀城跡は、復元出来ていない箇所は地面に石を埋め込んで平面図を作っており、柱の位置には色違いの石を埋めていました。なるほど…。

もっとじっくり色々見学したかったのですが、思った以上に時間が押してしまい、バタバタスケジュールの支部旅行も帰路へと就きました。

今回2日間でしたが、建築士の集いでは、沢山の仲間に出会い、研鑽を深め、新しい発見もありました。また、2日目の支部研修旅行では、佐賀の歴史にも触れることができ、建築士の観点からも、おもしろく見学することが出来ました。この場を借りて、協力して頂いたすべての皆様に感謝申し上げます。そして来年の建築士の集いの地域実践活動では、ぜひとも全国に行きたいと思います。(臼杵支部発表予定です!!!)



## 建築士の集い 佐賀大会に参加して

中津支部 前田 篤史

6月24日(土)に佐賀県嬉野市で開催されました建築士会九州ブロック研修集会「建築士の集い佐賀大会」～TSU・NA・GU～に参加してきました。佐賀県内では、武雄温泉駅から長崎駅を結ぶ九州新幹線西九州ルートが令和4年9月23日に開通しました。それに伴い、武雄温泉駅、嬉野温泉駅では大規模な開発がなされ生活利便性が大きく向上しています。一方、時代とともに進化するなかで伝統を受け継がれ続けている地区がたくさんあります。そんな魅力あふれる佐賀の文化・伝統・街並みについて詳しく知る機会となりました。



会場の嬉野市社会文化会館リバティにて開催された研究集会に参加しました。九州各県から約400名の建築士が集まる中、開会式の各挨拶の後、8つの各県から地域実践活動の発表がありました。大分県からは大分支部の「アートプラザ建築キッズボランティアガイド育成事業」の発表があり、国の登録有形文化財であるアートプラザの魅力伝える人を増やしたいという願いと大分の未来を担う子供たちの活動の報告が行われました。今後の更なる活動の水平展開が期待されます。

福岡県からは「空き家活用：高齢者と学生とのホームシェア」の発表があった。全国的に問題となっている空き家の有効活用について、高齢者と学生のホームシェアの活動事例が東京、京都であり、その活動を福岡でもできないか検証し、報告が行われました。高齢者と学生のマッチングや信頼の構築について、今後の課題が見つかりました。

地域実践活動の結果は大分と福岡が同率1位で、抽選の結果、全国大会(静岡県)行きは福岡になりました。全国大会での研究や活動の更なる水平展開に繋げて行きたいです。



その後5つの分科会に分かれていましたが、私は、第2分科会の「お茶をたのしむ旅ができる街」というタイトルで和多屋別荘 代表取締役の小原嘉元氏の講演を聞きました。嬉野という地域の持つ、温泉・うれしの茶・肥前吉田焼の三つの歴史的伝統文化を融合させた「ティーツーリズム」という取組みについて講義頂きました。

一杯のお茶を求めて旅が計画される、その旅先は嬉野。をコンセプトとしたツーリズムであり、茶畑に点在するうれしの茶を愉しむ「茶空間体験」やゲスト滞在中のお茶のお世話を全て担うティーバトラー「茶泊」などから構成される内容でした。

私の想像した茶空間は、柱、壁及び屋根に囲まれた茶室であったのですが、ティーツーリズムに



おける茶空間とは、茶畑の中に約20㎡程度の床架台が設置されているだけのものであることに驚きました。

また、旅館やホテルの客室室料のように、茶畑に設置された茶空間(茶室)にはその土地の唯一無二の価値があり、茶室料つまり空間売上を創り出すことが出来ることに気付かされました。

現在、保有している地域振興資源を最大限に有効活用し、お茶の付加価値を高める努力をされていまして、また、「茶農家生産者」、「旅館・飲食店・市場・茶商」、「消費者」三者それぞれが生かされる持続可能な取組みが印象に残りました。

分科会を終了した後、夜19時からは、嬉野温泉駅前のフリースペース「うれしのまるく」にて意見交換会に参加しました。約300人の建築士が集ま

り、オープニングアトラクションとして、牛津赤れんがジャズバンド&Wilmaさんによる演奏が披露され、華やかに開始されました。

食事をしながらお酒も少し頂いたこともあり、お話をしやすい環境であった為、普段聞けない大分県以外の建築士会の活動を知ることが出来ましたし、建築行政の様々な課題について共有することが出来ました。

令和5年度九州ブロック研究集会「佐賀大会」に参加し修得した知識を生かし、より深い研究集会になるよう次回の令和6年度宮崎大会に参加し、多くの建築士の方々と交流したいと思います。



# 建築物グリーン化推進小委員会報告

建築物グリーン化小委員会委員 松 井 健 児

建築士会では、昨年度より建築物のカーボンニュートラルを目指し県の委託を受けグリーン化推進小委員会を立上げ、建築関連団体、建築教育機関（大学）を巻き込み活動を行っています。



2020年10月26日当時の菅総理が所信表明演説で2050年まで温室効果ガスの排出をゼロにすると宣言したところから、この国は本格的に脱炭素社会に向けて舵を切ることとなり、そして2030年までに当時の温室効果ガスの排出量を46%削減（50%を目指しつつの最低目標）する事となりました。遅ればせながら大分県の建築業界もその目標実現のために、一歩を踏み出すこととなったのです。

そのための最大の障害は何だろうかと考えたとき、誰もこのまま放置しておけば大変な事になるという意識が非常に薄いという事ではないだろうかと思えます。昨今の異常気象35℃超え、ゲリラ雷雨、河川の氾濫、暖冬、爆弾低気圧による豪雪、異常に大きな台風等人々の命が失われる事象が身近の発生していることを自覚し日々実践して欲しいと思えます。この問題にアプローチするのに、まず、ZEB・ZEHを理解することから始めました。県内の該当施設を見学し取組・効果を学びその報告を以下の活動に繋げていきます。

## ・ネットワーク会議の立上げ

メンバーは、先に述べた各団体です。どのように考え、取り組んでいるかアンケートを作成・披露し今後の取組への素材として頂くというものです。

## ・技術者向け講習

ネットワーク会議での成果をそれぞれの会員に披露し仕事に活かして頂く事を目標としています。

## ・県民フォーラムの開催



これが一番重要なのですが、ハードでは、ZEB・ZEHを実現するためには、20%程度のイニシャルコスト増となりますが、これは建築物が役目を終えるまでに係る費用の11~15%です、ゼロエネルギー建築を実現すれば、光熱費がゼロとなり、税金・ローンも含め建物の維持管理費が年間15%程度削減でき且つ地球温暖化防止へ寄与できます。この意識を県全体に意識付けする事でカーボンニュートラル実現を目指します。

## ・ホームページの作成

建築住宅課のサイトよりアクセスできます。非住宅・住宅にそれぞれまとめており、省エネの手法や補助金や先進事例の紹介を学ぶ度に反映させております。是非一度訪れてください。

以上昨年度の実績ですが、今年度も引き続き活動を行っています。今年度は、1年間の実績を踏まえ設計指針の策定や県北・南の2回に分けての県民フォーラム、先進事例の視察においては、本州へ渡り、町全体で取り組んでいる現場へ行く予定です。

建築物のグリーン化推進は、まず意識を持ち、興味を抱く事が重要だと考えています。自分自身の住まいのエコ、仕事における建築物のエコ、ハード・ソフト共に大分県民一体となって取り組んでいく必要のある喫緊の課題です。誰かがやってくれるだろうは、ありません。そのための手段は、ホームページを参照ください。次世代へ向けてよりよい建築物を創りましょう。



# 『建築士の絵画展』

美術部部长 浅野 健治

建築士として多忙な日々を過ごす中、私達建築士は心の豊かさを培う必要があるのではないかと思います。

我々は美しいものにふれ、美しいものを追求することは、精神の糧をはぐくみ豊かな心をつくる一つの方法ではないかと思っています。美術を鑑賞し愛好し、さらに制作や研究をすることは私達の生活や仕事に潤いを与え、人間性を高める力ともなりましょう。

そこでこのたび、建築士が目線で描いた絵画を広く一般の皆様へご覧いただけるように『建築士の絵画展』を開催いたしました。

新山俊則氏の風景画・建物・可憐な草花、栂田康一氏の建築情景画・旅先スケッチ、私浅野のツーリズムマップ画、等々の主に水彩画を中心とした絵画の展示でした。

7月11日から23日までの13日の開催期間で、556名の一般の方々や建築士会関係者にご来場いただき、感謝、感動の中での絵画展となりました。



来場者の感想を抜粋して紹介いたします。

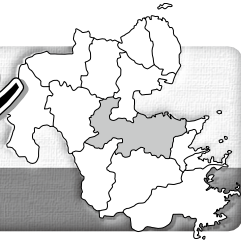
- 大分の身近な景色、旅行の景色、絵となるととてもやさしいですね。素敵な空間で時間を過ごせました。
- 建築士らしく正確なきちんとした描き方で面白くて良かった。
- すばらしい作品で、心がすっきりしました。次も

楽しみに。心より感謝。(うまいです)

- かんこくじんなのでよくわからないんですけど、ま、たのしかったです。
- キレイに描かれているのでとても気持ちが清々しくなりました。身近に美しいものが沢山あるものですね。楽しい時間でした。
- さすが線がとてもきれいです。三人様のそれぞれの趣があって素晴らしかったです。
- 丁寧なタッチと、さわやかな色合いが、とても心に染み込みました。
- 一線一線無駄がなく丁寧人描かれているのが心に伝わりました。水彩特有の淡い発色もとてもきれいでした。
- Bravo Ninomaruがすごかったです。細かいところまで塗っていてすごいなと思いました。私もうまくなるようにガンバります。
- 上手な人はいっぱいいるけど、ここまでの人は初めて見ました。
- さすが建築士が目線で、繊細で正確で美しく感動しました。いつか画集も出してください。
- 一目見てさすがと思いました。絵が好きで描いていますが、根気よく描けたらいいなと思いました。
- 宮沢洋氏に触発されて建築の絵を描くようになりましたが、構図もパースも色使いも完璧で頭が下がります。

今回の絵画展によって、大分県建築士会員の資質向上は勿論のこと、会員外の美術愛好者にも何らかの貢献ができ、ひいては美術鑑賞に親しむ人達に便宜と機会を提供して、美術を愛する人が一人でも多くなり、大分県建築士会の活動に多少なりとも役立つことが出来たのではないかと考えます。





## 建築士の日(よろず建築相談会)の活動について

大分支部 末成 祐二

令和5年7月9日(日)、建築士の日記念事業として県下一斉に「よろず建築相談会」が実施されました。

大分支部では、毎月第3木曜日に「まちづくり・建築よろず相談会」を定期的に開催していますが、今回の建築士の日記念事業でも、省エネ相談も含めた相談対応のために相談員を3名に増やして対応しました。

会場は、定期相談会と同じホルトホール大分1階まちづくり情報プラザです。

新たに配布された「開催中の職」を立てながら、相談があるかなと心配していましたが、開始を待ちかねて相談者が現れ、その後も新聞と市報で相談会を知った相談者が訪れて、都合3件の相談を受けました。

一件目は、建物の売却にあたって建築基準法令に

よる制限の相談で、建築確認通知書を持参していただけてました。

2件目は、数年先に計画している実家の改築について、工事費用のほか工法、さらに持ち山の木で家を建てる方法の相談でした。

3件目は、自宅の売却を宅建業者に依頼しているが進捗しないことへの対処の相談でした。

相談会では、案件の情報が限られ、また建築領域を超えるなど明快に回答できないじれったさを感じましたが、相談者が抱えている大きな不安の解消、疑問の解決に向けた一助になったのではとの手応えがありました。

対面での相談会は、メールや電話より相談の機微に触れられる点では優れていると思いますが、あらかじめ電話等で相談内容を聴き取れば、より適確な回答を準備できたのではとも感じました。

相談事業のより効果的な方法を検討いただくことを期待します。

最後に、大分市まちづくり情報プラザにまちづくり相談員として勤め、今回の相談にあたっても設営、資料提供などサポートをいただいた渡邊豊基さん(佐賀関支部)、共に相談員を務められた田邊健司さん、江藤邦雄さん。お世話になりました。皆様に感謝申し上げます。





## よろず相談会

豊後大野支部 工藤 健治

7/9 (日)豊後大野市役所 1階ホールにてよろず相談会を開催しました。



日曜日の市役所とあって閑散としていましたが、相談会を目当てに訪れてくれたお客様がいらっしゃいました。



相談内容の一部を紹介しますと

- ・現在お住いの家が土砂災害特別警戒区域(レッド

ゾーン)内で、老朽化しているため建て替えをしたいが出来ないといわれている。

というものでした。

各種補助金や利用可能な制度のお話をし、的確な即答はできませんでしたが、改修か移転かという単純な問題ではなく、段階を踏みながら既存建物の調査や安全性の確認をしながら、進めていきましょう。というアドバイスをしました。

他には

- ・区長さんが地域の公民館が老朽化しており、集会・避難の場所として万が一の時に機能を果たせるのか不安だというものでした。

ハザードマップ等、机上で調べられるもののお話をしましたが、修繕や建て替えを行う場合、高齢化が進む地区においては、そもそも資金面や建設の話合いが困難で行き詰っている現状がありました。



豊後大野市では、地区集会所整備については遅れている現状は把握していますので、現在行っている公益事業の取り組みで、段階的に点検調査を進めていきたいと思えます。

上2件のケースにおいて、建築士が積極的に係わっていかないと解決しづらい問題で、建築士の果たすべき役割を再認識させられました。建築士会としても窓口・相談業務を周知し、継続的な取り組みを行いながら市民の困り事に接する機会を増やしていきたいと感じました。



## よろず建築相談会

中津支部 山村 増治

昨年に引き続き、2年目となるよろず建築相談会は、中津市教育福祉会館で行われました。

午前と午後で各2名の建築士が相談員となり、2件の相談がありました。

完成した建物に対する施工会社の瑕疵についての相談と、自宅の改修を考えている方からの施工方法と仕上げ材について相談です。

施工会社の瑕疵についての相談に対しては、建築基準法に基づいた建物の構造上必要な耐力壁の施工方法と納まり、必要壁量などについての説明、瑕疵とされている部分の補修内容の説明、瑕疵にならないひび割れ等についての説明を行いました。

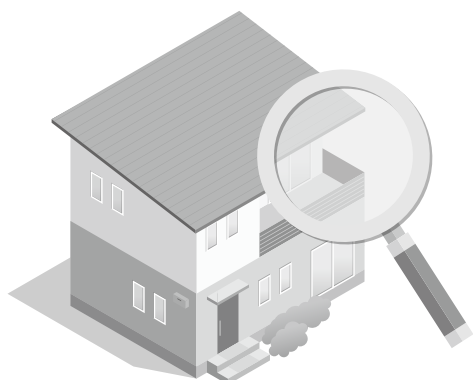
これまで、建物についての法的に詳細な説明を受けていなかったようなので、図面を見ながら分かる範囲で説明して、ある程度は納得して頂いたようです。

本来は、設計した建築士が説明すべきですが、それが為されていない事が相談者の根本的な原因だろうと思いました。

自宅改修については、床材の選定方法や部位ごとの施工方法や検討事項、工事費についての説明を行いました。

自宅の改修を行う上で考えることは多いですが、「やりたい事」と「出せる予算」をまず決めて、それから建築士や施工会社に相談することを伝えました。

今回は2件の相談でしたが、今後このような機会が増えて、建築士会が悩みを持った方の手助けになる団体となることを期待します。





## よろず建築相談会

佐伯支部 志賀 智昭

令和5年7月9日、建築士の日記念事業「よろず建築相談会」が実施されました。

昨年の経験を踏まえて、飛び込みの相談者を期待し会場を商業施設(トキハイナグストリー佐伯店)としました。市報への掲載も間に合いましたので昨年を上回る相談者に期待したいところでしたが、市報を見ての相談者が2組という結果でした。

詳しい内容は割愛させていただきますが、耐震診断・改修についての相談を聞いた感想として、一般の方に業務の内容や流れについての説明には皆さんも苦勞をされているのかな?という印象を受けました。私自身も業務を行っていますが、丁寧に説明したつもりでも相手には伝わっていないという事が時々あります。

他に、建築相談ののほりを見ての相談が1件ありましたが、相談内容が理解できなかったのでお断りさせて頂きました。後で理解したのですが、「建築相談」を「健康相談」と見間違えたのでは?というハプニングがありました。

相談者がいない時間も久しぶりに会員さんとの会話が弾み、又 新会員の福井さんが参加していただき有意義な時間を過ごすことが出来ました。



## よろず建築相談会

高田支部 後藤 憲二

令和5年7月9日、建築士の日記念事業「よろず建築相談会」が県下14支部実施され、高田支部は中村建材店ショールーム2階会議室で開催しました。

当日は、準備中は曇りだったものの開始する頃には雨が降り始め雨の勢いが増していく状況で、この天候だと相談者が来るか心配していたところ、市報で開催を知った方が外壁の改修について相談に来られました。

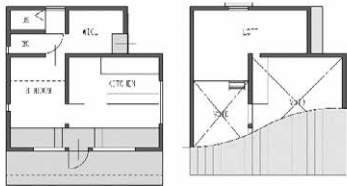
最初は、外壁の塗装を行いたいと思っているが、費用を把握したいのでどのように見積もりを取ったらよいかとの相談でした。話を伺ってみると建設時から年数が経っていること、建物の現況の状態をヒアリングすると塗装のみでなく外壁改修も同時に行う方がよいと思われる状態であり、その他にも改修工事を検討した方がよいと思われる点もあった。新築時、増築時と内装リノベーションでそれぞれ異なった建設会社が工事を行っており、当初相談者は自分で見積りを取ることにについて相談がありましたが、複合的な要素があるので建設会社と相談して工事内容を検討した上で建設会社から見積りをもらった方が良いですねという結果となった。

多くの相談者が同様だと思われるが、思い立つときはある一つの事象について工事をしようと思いつくが長寿命化及び費用節約を考える上で工事が二度手間にならない様に専門家と十分な相談をした方が良いと感じました。そのためにも今回のような建築相談会の意義があると改めて感じました。



# MY WORK

- ★建物名称 1985HOUSE in 別府
- ★建築場所 大分県別府市鶴見某所
- ★用途 専用住宅
- ★床面積 40.16㎡
- ★構造 木造
- ★設計者 株式会社神力設計
- ★施工者 株式会社平野工務店
- ★竣工 令和5年1月
- ★設計趣旨



既存は智原氏設計の6畳サイズの小屋。

眼前に別府湾と仏舎利塔、背後に扇山、四方八方から湧き上がる湯煙に囲まれる別府らしさにあふれた敷地に建築したタイニーハウスは、建築主1ネコ1のコンパクトな生活スタイルと建築主の思い切りの良さの結晶体。コンパクトだけではなく、日射を取得して土間に蓄えるパッシブデザインから、省エネ、創エネ、蓄電も行う企画を建築主と施工者と設計者の三位一体で行った。

外皮は外張り断熱と基礎断熱を用い、外装材は素地のガルバリウム鋼板とした。内装は、床にアカシア材、壁と天井は塗り替えをイベントとして楽しみにとっておきたいとのことで、OSBボードをそのまま使用している。



屋根勾配の設定は太陽光パネル優先



冬季の日射を南向きの土間に蓄える。(写真は1月頃)



粗い木質チップの仕上りが壁と天井を包み、洞窟のような印象

- ★建物名称 鶴崎公民館集会室棟
- ★建築場所 大分県大分市東鶴崎一丁目1番7号
- ★構造 鉄筋コンクリート造  
2階建て、屋根鉄骨造
- ★設計者 株式会社 大洋設計
- ★施工者 平倉・後藤総合特定建設  
工事共同企業体

## ★設計趣旨

地域コミュニケーションの拠点である鶴崎公民館に隣接する集会室の利用は、集会・式典・講演会・会議・軽スポーツ（バトミントン・ミニバレー・卓球・ダンス等）など多岐にわたっており、それぞれの用途に適した仕上げとしました。地域住民の要望も取り入れながら、身障者のためのバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮し、すべての利用者に満足していた

だけの設計としています。また、緊急時に避難所としての利用も想定されるため集会室のステージ下を防災用備蓄倉庫スペースとして設計しています。



# MY WORK

- ★建物名称 竹ノ内店舗
- ★建築場所 大分県別府市  
大字鶴見今井1787-1
- ★用途 貸店舗
- ★構造 木造平屋建て
- ★延床面積 延べ面積 38.74㎡
- ★設計者 周設計工房 今橋 周作
- ★施工者 長幸建設株式会社



- ★建物名称 K様邸
- ★建築場所 大分県別府市大字南立石
- ★構造 木造2階建
- ★用途 一戸建ての住宅
- ★延床面積 延べ面積 159.08㎡
- ★設計者 株式会社 幸建設 幸 康史
- ★施工者 株式会社 幸建設
- ★設計趣旨

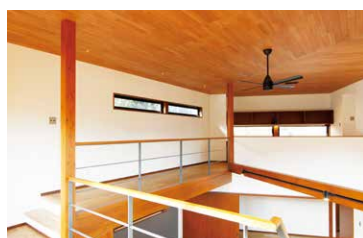
別府市の山手にある斜面住宅地で、台形の敷地の南側には川、北側には道路が接している。

最低限の車の旋回スペースを確保しつつ庭空間を最大限確保するため、建物を敷地形状に合わせた「へ」の字型の平面形状とし、庭空間を囲うように配置した。

家族の活動の中心となる庭に面した外壁を全て杉板貼りとすることで、木の温もりを感じられる建物となることを意識した。対比的に道路側はシンプルなガルバリウム鋼板葺きとした。

ご主人のコレクションである多数のアンティーク家具の展示要望を満たすため、2階までの動線を4層からなるスキップフロアによるギャラリースペースとして計画した。室内空間

全体の連続性を持たせつつ、各居場所がやわらかく仕切られ、木の暖かみとアンティーク家具に囲まれた空間とすることに注力した。



↑ギャラリースペース



↑1階LDK

# BOOK My Best Book

マイベストブック

## 『スラムダンク』

著者：井上 雄彦  
臼杵支部 三重野 豊

私は小・中はサッカー、高校はラグビーと曲がりなりにもスポーツを続けてきました。本当は絵を描くのが好きで美術部になぜ行かなかったのかとも思いますが、それは置いておいて。好きな漫画は色々ありますが、数あるうちの一つを挙げるなら昨今映画化で話題の「スラムダンク」です。バスケやったことないですけど（笑）。

あらすじ：『SLAM DUNK』（スラムダンク）とは、湘北高校のバスケットボール部が全国制覇を目指していく日々を描いた、井上雄彦による漫画作品である。湘北高校に入学した不良少年・桜木花道は、一目惚れした女の子目当てにバスケ部に入る。不純な動機でバスケを始めた花道だが、次第にバスケにのめり込み、天性の才能を開花させていく。

漫画は終盤に高校バスケ界最強の王者・山王工業高校との試合が描かれており王道のストーリー展開なのですが、絵が本当に上手で静止画なのにまるで本当に動いているような躍動感で描かれています。また登場人物たちの個性も際立って非常に面白いです。スポーツ漫画はあまり好きではない自分でも熱中して読んでいました。

映画では少し違ったアプローチで山王工業戦が描かれており、漫画とはまた違った面白さがあったので気になった方は是非映画館へ。原作を知らない方は是非読んでみてください。



## 『用途と規模で逆引き！住宅設計のための建築法規』

著者：そぞろ  
佐伯支部 福井 大輔

・書籍カバー袖部分の紹介より。

初心者からベテランまで、わかりやすい！と評判の建築基準法ブロッガー・そぞろさんが複雑な建築法規を会話形式でテンポよく解説。住宅の用途・規模から適用される法規がすぐ調べられる「逆引き表」で、規制の見落としを防ぐ。確認検査機関側の目線で要点が押さえられているから、事前協議にも強くなる。

住宅設計者必携の1冊！

・著者のそぞろさんについて。

指定確認検査機関にて、過去に5000件以上の物件の相談や審査業務を行っていた経験を生かし、ブログやSNSで建築法規に関する発信を行っている。2019年6月に立ち上げたブログ「建築基準法とらのまき」(<https://kijyunhou.com/>)が建築関係者の間で好評を博す。建築基準法が苦手だったが、「一周回って楽しく感じるようになってしまった」経験をもとに、難解な建築基準法をわかりやすく解説して「実は簡単なんじゃないの？」と多くの人におもってもらおうことを目指している。

私はそぞろさんのSNSをフォローしていますが、従来の建築法規の解説と違い、会話形式で建築法規について深掘りしていく形がわかりやすい。また、問題形式の投稿もあり、解説もわかりやすく、知識の蓄積になる。そんなそぞろさんがフォロワーさんからの声により書籍を出版する！ということで、私もワクワクして、即購入してしまった。内容はやはり、他の建築法規の書籍と差別化をされており、適度に会話形式で建築法規を深掘りしていく構成、本当に必要な情報が探しやすいように工夫している。冒頭にも紹介しているが、逆引き表の活用がポイントになっている。

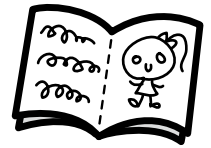
この本を日々の業務に活用することによって、「建築基準法って実は簡単なんじゃないの？」と思えるよう、日々研鑽！







# My Best Book



マイベストブック

## 『夜と霧』

著者：ヴィクトール・E・フランク／訳：池田香代子  
豊後大野支部 首藤 陽蔵

ある市議会議員を何年も応援しておりました。彼は7期20年以上にわたり議員として活躍し、多くの議員がさして目に見えるような成果を出すわけでもなくただ漫然と名誉職として議場の椅子の上で時を費やすばかりの中、バイオマス発電所の誘致、市産木材の販売、地元の道路拡幅など精一杯の活動をなさっていました。

そんな彼が、ある日病に倒れあっけなく他界してしまったのです。

私はそのあまりの儂さに、人生とは一体何なのだろう？人は何のために生きるのだろう？

人生の目的とは何なのだろう？と考えました。60億を超える人間がみんな人生を生きている。そのすべてに自意識があり生きる目的がある。人種や年齢も違えば性別、職業も違うそれぞれの人生。そのすべての人々が何のために生きるのか？その答えがたった一つの言葉で言い表せるとしたら…そうアインシュタインが導き出した世界で最もシンプルですべての物質のエネルギーを表す  $E=mc^2$  (公式) のように。

ずっと考え続けたある日、人は何のために生きるのか？の答えがわかったのです。そう、誰もが生まれて物心がついた瞬間から死ぬまでの間、すべての人間が生きる目的は、『幸せになりたい』『Will Being』だということに気がつきました。その答えにたどり着くまでの間にたくさんの本を読んだりもしました。

紹介する本が答えを教えてくださいましてありませんが、私なりの答えを見つけた後で、この本を読み返すと『幸せ』の本質を考えさせられました。

そしてその幸せには目標やゴールもなければ死んでしまいたいほどの苦しみの中にすら存在し、尊いようでちっぽけでもある。幸せとは未来を信じられる心の中にあり、暗闇の中に灯る光のようなものなのかもしれません。



## 『「育ちがいい人」だけが知っていること』

著者：諏内 えみ  
高田支部 後藤 憲二

野球の大谷翔平選手やバスケットの河村勇輝選手など何気ない仕草から「育ちがいい」とマスコミで取り上げられることがあることがあり、この本のタイトルが気になり手に取りました。

何となく分かっているつもりでも意外と分かっていないことが多いですが、適切な理由を述べながら話されると、つい頷いて気をつけたくくなります。育ちがいいからではなく、人として、老若男女を問わず大切だと思います。心配りといった気遣いの話から、食べ方のマナーといった具体的な内容まで、勉強になること、気づかされるが多く掲載されています。特に気遣いの面では、「確かにそうだなあ」と納得できることが多く、何よりも、分からないことは分からないで聞ける素直さ、教えに対して素直に受け入れられる、そんな気持ちでいることの大切さに気づかされます。

マナーと言うと、この場合は、こうするという“型”を覚えて実践しがちですが、最初は、そこから始まると思いますが、なぜ、それがマナーとされているのか？を考えられれば、様々なシーンでの色々な型を丸暗記しなくても、マナーある振る舞いが自然とできてくるかと思えます。それが、育ちが良い人と感じられるのではないかと。

誰かを尋ねると言う行為で紹介されていますが、20代の頃カナダで生活していた時に友達の家でのパーティーに行くのに一緒に行った友人が約束の時間の10分後くらいに到着する方がいいよと言ったことを思い出します。ビジネスであれば、限られた時間でスケジュールが組まれていることを考慮して、約束の時間通りあるいは少し前にお伺いすることが適切なマナーですがプライベートでお家に伺うのであれば、相手が自分を迎入れる準備をしてくれていることを考慮して少し遅れ気味に行くこと思いやりのあるマナーだと、確かに迎える時は事前にバタバタしていることが多いかと納得でした。

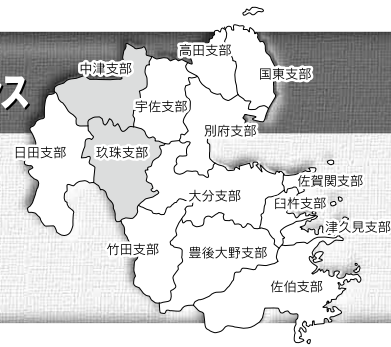


# PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

## 我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



- ★氏名 宇野 隆磨
- ★生年 昭和63年
- ★勤務先 玖珠町役場
- ★趣味 バレーボール、ゴルフ
- ★将来の夢、モットー等

高校卒業後から10年間、関東・九州で施工管理の仕事をしていましたが、2016年から地元玖珠に帰郷し、現在は玖珠町役場に勤めています。

現場経験のほうが多いのでどちらかというと現場畑の人間ですが、建築士会の活動を通じて経験を積み、建築士としての知識や技術を深めていきたいです。

コロナウイルスも5類となったので、会員の皆さんとお会いしてたくさん交流ができればと思っています。

そして、建築士会で知り合っていく方々とのつながりを大事にして、いい刺激をもらいながら自分自身成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。



宇野 隆磨 (玖珠支部)

- ★氏名 村上 千由紀
- ★生年 昭和49年
- ★勤務先 千 設計
- ★趣味 スポーツ観戦、最近DIYを始めました。
- ★将来の夢、モットー等

私が生まれた土地は、四国の徳島県です。

大学を卒業して初めて就職したのは地元徳島のゼネコンです。そこでは、施工管理として働きました。建物がだんだんと形になっていくのを間近で見ながら、達成感と感動があり、建築が好きになりました。

縁があって九州に来て約25年近くになります。

今、私のまわりにいる人は、とてもあたたかい人たちばかりです。

そんな、豊前市、中津市を活気づけるため、少しでも役に立てればと思っています。古き良きものを大切にをモットーに、これからは環境についても勉強していきたいです。



村上 千由紀 (中津支部)

# 近況トピックス

佐賀県支部 渡 邊 豊 基

本年3月末に、42年間務めた役所を定年退職し、現在は、再任用職員として都市計画部まちなみ企画課の「まちづくり情報プラザ」に勤務しています。

職場は、J:COMホルトホール内の1階の市民図書館の隅っこにありますので、近くにお出かけの際は、是非、声掛けしてください。

「まちづくり情報プラザ」での職務内容としては、都市計画全般や景観、交通政策、公営住宅、防災施策などの幅広い出先窓口として様々な周知活動と市民からの相談に対応しております。

また、職場内には、大分駅周辺部のまちづくりの変遷等が写真で見比べることが出来るよう、「過去と現在」の写真を展示しており、視覚にてまちづくりの原点と完成形が閲覧できます。

さらに、「まちづくり情報カフェ」を開催し、様々なまちづくりに取り組む個人や団体等の活動について講演会を開催しています。

今年度は、「防災まちづくり」をテーマとして講演会を企画しており、去る7月19日には「建築士の防災活動と我が家の防災対策」として、不肖ながら私が講師となって講演したところです。

第36回 まちづくり情報カフェ  
防災まちづくりシリーズ 第1弾

**建築士の防災活動と我が家の防災対策**

日時 令和5年7月19日(水) 18:00~20:00  
場所 J:COMホルトホール大分 302会議室  
講師 豊基 渡邊(佐賀県支部長、防災委員会チームリーダー)

講演概要  
阪大・大分地震や北部九州豪雨災害などでの建築士の防災・支援活動や、今後発生することが想定されている南海トラフの巨大地震等に対する事前防災のヒント及び木造建築物等の耐震化事業を紹介します。

電話を先着の順までとし、参加費はマスク費用をお願いします。  
※コロナ感染拡大によっては、開催を延期または、中止する場合がございますので、ご了承ください。その際は、ホームページ等でお知らせいたします。

「まちづくり情報カフェ」では、建築士を中心に市民を対象にしたまちづくりの周知活動を実施しております。お問い合わせは0975-246000です。こちらからもお問い合わせください。お問い合わせは0975-246000



さて、建築士会では防災委員会に属し、チームリーダーとして聯合会の防災委員と連携を図り、応急危険度判定活動の出動の対応等をしつつ、本会における防災活動として、「応急危険度判定」や「住家の被害認定調査」にかかる研修を開催しています。

去る8月3日には、竹田市において支部や周辺自治体の職員様を対象として、「罹災証明に必要な住

家の被害認定調査研修」を開催し約50名の参加がありました。



この研修は、大分県知事と平成30年に協定を締結したことに起因していますが、県内で甚大な災害が発生し、自治体から被害認定調査に対する支援要請があった場合を想定して研修しているものです。

そのきっかけは、平成28年の台風18号の豪雨被害時に本会が津久見市での調査を支援したことからです。

本会の究極の公益事業として、県民に寄り添う建築士として継続して取り組む所存です。

最後に、趣味の自転車は一時休止していましたが、最近娘婿と自転車ツーリズムの研究をしており、臼杵や別府、佐伯あたりでグルメツーリングしています。

みなさんも一緒にサイクリングしませんか～！笑



### まもなく古稀を迎える ロックな人生

佐伯支部 井上一則

来年で、古稀(70才)を迎えるスーパーなオヤジ。ここらで自伝的話を残すのも良いかな?と引き受ける事になった。

破天荒だけど意外にまとも?な男の人生に、少しだけお付き合いを……



【弾き語り(現在)】

小学生の頃観た映画「若大将シリーズ」。テレビで観ていた「コンバット」や「わんぱくフリッパー」。そのシーンで登場していたエレキギターや機関銃、そしてエアポート。それを金の無い少年は、みな手作りで再現してみせたのが、趣味と実益を備えた物作りのスタートでもあった。

小学校の1年から中学1年までは、なぜか委員長、ルーム長を務め、2、3年は副ルーム長。頭は悪いが、人気だけはあったこの頃(笑)。中学での部活は、バレーボール部と陸上部の二足の草鞋で過ごした。

3年間自転車通学で、未舗装の二峠を越す4kmの道のりを一度も自転車から降りることの無い健脚も自慢だった。

16才になった時、世はフォークソングブーム。まだカラオケの無い時代、元々歌好きな少年は、モテたいと言う願望より人前で歌う為の伴奏としてギターを始めた。

目標は高一の文化祭でのデビューだった。

17才でバイク、18才で車に興味を持ち、高校の時

は下宿生活の中、離れの部屋にはいつも輩の声がしていたから、近所さんへの気遣いは相当なもんだった。いわゆる不良(わる)にもちゃんとした社会性やルールはあったのだ。

そこまで揃うと、あとは恋愛に行き着くか……いや、実はその恋愛が何を隠そう、1番先頭だった。中学を卒業する前から、人生初の恋愛が始まっていたからだ。



【ギター&バイク(17才)】

高校三年間での恋愛はそれなりの交際を経験し、しっかりと少年から大人の階段を昇って行ったのもこの頃だった。

高校を卒業して就職した、広島に本社のあるゼンコン。

入社試験の面接でも「東京支店勤務を希望します」と図々しく言っていたが、合格を頂いた上で、東京支店勤務を命ぜられたのだ。

なぜ東京?

それは高校時代に芽生えてた、ある夢があった為でもあった。

その夢とは、同級生の皆に公言していた「俺は必ずシンガーソングライターとしてデビューするから、ちゃんとチェックしておけよ~」の置き台詞を実現するには、東京だったのだ。



【代々木公園(21才)】

現場で施工管理をしながらの情報収集もいとまなかった。

色んなオーディションにも応募し出演もした。

だが、世の中はそんなに甘くもなく、ことごとく弾かれたのだ。

それと平行して、路上LIVE(走りだったなあ)をやったりもしていた。

上野美術館や博物館前。

代々木公園や宮下公園。

中々足を止めて聴いてくれる、もの好きの人は居なかった。そんな中、代々木公園で声を掛けてくれたある女性達。何とか引き留めようと「車で駅まで送りますから聴いてください！」と脅迫めいた言葉も掛けた(笑)。

その内の一人とは付き合っていく事になったのだが…

その送って行くと言った車とは、あの箱スカ(スカイライン2000GT)だった。

19才で初めて持ったマイカーがそれだった。



【箱根(20才)】

日曜日の早朝に新宿通りを走っていると、よく族のシャコタンにしたサバンナGTに信号バトルを仕掛けられたものだった。

それにすぐ乗ってしまうバカな俺。

「ギターと車と〇」がその時代の三種の神器(笑)をそのまま謳歌していた。

そんな東京時代は4年で終わってしまうことになった。

それは田舎の家族の俺への一世一代の嘘が、その後の人生に大きく影響を及ぼしてしまうことに。

家族(祖父母と両親)としては、俺が東京に長くいると、絶対に田舎へは帰ってこんぞ!と危機感があつたらしい。

それが嘘に繋がったとか。

俺が夢を捨て、全てを捨て(職も彼女も)て帰って来たつかれた嘘。

それは次の夢だった設計の道。

「今ならお前みたいな奴でも引き受けても良いと言う地元の設計事務所があるから、すぐ帰って来い!」だった。

丁度仕事でも、歌の道でも挫折を味わっていた時のタイミングだったのもあって、まんまと嵌ってしまったのだ。

辛かったのは付き合っていた彼女との別れ。

なぜ別れたのかは、敢えて触れないようにしておく。

こちらに帰ってからは、ある程度の方はご存じの通りです。

俺の中では色んな事に挫折し、色んな夢を諦めたり、色んなものを失った東京時代。

だけど、こちらに帰ってからは全てをリセットしてからの再スタートだった。

田舎の空気、景色、環境を好きになろうと努力もし、田舎から都会への発信をモットーにした、果敢な20代を過ごした。

20代最後で結婚をし、30代前半で事務所を開業し、現在も地味だがどちらも継続している。

都会と田舎、どちらが良かったのかは分からない。

言えるのは、来年で古稀。

ここまで大きな病気や怪我もなく歩めて来れた事実がある。

ギター、車、オートバイ、バレーボール…は、いまだ現役だ。

まだもう少し、この世で皆様に迷惑を掛けて行くかも知れないが、「ロックな奴だね!」と言われる続けるつもりだ。



【愛車&ツーリング(現在)】



# マーボの旅先日記 その19



顧問 井上正文

## 「長野県の国宝建造物を巡って」

長野県といえば、大分県とは全く気候風土を異にする土地柄で、訪れる機会の少ない県のひとつではないでしょうか。全国でも数少ない「海のない県」のひとつでもあります。当地大分から向かうのも、多少の困難を伴う地域でもあります。ただ、意外に知られていない九州からのルートがあります。福岡空港からは松本空港への航空便（FDA便）がありますから、この便を利用すると、乗り換えなしで一気に松本まで行けます。皆さんもこのルートを使われることで長野県へのハードルも下がるかもしれません。長野県内には以下の6カ所に国宝建造物があります。

- ① 安楽寺八角三重塔（上田市別所温泉）
- ② 大法寺三重塔（小県郡青木村）
- ③ 松本城天守（松本市）
- ④ 旧開智学校（松本市）
- ⑤ 仁科神明宮（大町市）
- ⑥ 善光寺本堂（長野市）

最初からから順を追って紹介していきましょう。この6カ所は十年ほど前の冬場から春先にかけて訪問した所であることは、まずはお断りしておきます。



(写真1)馬刺し(上田市内の居酒屋)

①②は上田が起点となります。なお、上田には六文銭の家紋で有名な、真田氏の居城である上田城もあります。また、信州には古くから馬に荷役をさせる地方であることから、農耕馬を食用とする文化があるとのことで、上田では居酒屋さんで馬刺し（写真1参照）を頂きました。

■八角三重塔（写真2参照）のある安楽寺には上田から上田電鉄別所線で別所温泉に向かいました。八角三重塔は全国でもこの塔のみではないでしょうか。そういう意味でも知名度の高い三重塔として知られています。

全体は4層にも見えますが、初層部分は裳階であり、3層の八角三重塔となっています。鎌倉時代の創建とされています。



(写真2)安楽寺八角三重塔

■大法寺三重塔（写真3参照）へは上田から上田電鉄別所線で別所温泉駅まで移動して、タクシーで15分の距離でした。ただ、ここは残念ながら大規模修理中で、写真の通り、足場が掛かった状態でしたので、捲土重来を期した次第です。この塔は日本一美しい塔という評判もありますので。

③④⑤は松本市を起点すると便利かと思われます。松本は長野県第二の都市であり、大学や歴史的建造物や古い町並みが残っている文化都市の趣があります。ここでは、居酒屋で「大雪溪」という銘柄のどぶろく仕立ての日本酒（写真4参照）を頂きました。地酒ならではの雰囲気のあるお酒を堪能しました。松本では松本城と旧開智学校の両者の間は徒歩10分程度の至近距離です。

■松本城（写真5参照）は国宝現存天守5城のひとつです。規模といい、風格といい、素晴らしい天守です。ちょうど、雪の日に出向きましたので、良い写真が撮れました。天守は安土桃山時代末期 - 江戸時代初期に建造された現存天守の一つとして国宝に指定され、城跡は国の史跡に指定されています。天守が国宝指定された5城のうちの一つです（他の国宝天守は姫路城、犬山城、彦根城、松江城）。

1872年（明治5年）に天守が競売にかけられ、解体の危機が訪れますが、市川量造ら地元の有力者の尽力によって、買い戻されて難を逃れたという逸話も残っています。



(写真3)大法寺三重塔



(写真4)大雪溪「どぶろく」(松本市内の居酒屋)



(写真5)松本城天守

■旧開智学校（写真6参照）は明治初期の建築で、学校建築の歴史には必ず登場する建物です。昭和38年まで使用されていたと言いますから、長寿命の学校建物だったようです。竣工当時のこの地での教育への力の入れようが感じられる建物です。設計・施工は立石清重です。



（写真6）旧開智学校

■仁科神明宮（大町市）（写真7参照）はJR松本駅から大糸線で、安曇沓掛駅で下車して、タクシーで現地に向かいました。タクシーを使わず徒歩でも移動可能な距離でしたが、前日までの積雪で徒歩移動は困難と判断した次第です。神明造りといえば伊勢神宮を思い浮かべますが、20年ごとの式年遷宮のため、伊勢神宮に国宝はないことはご存知の通りです。本殿並びに中門の建築は江戸時代初期の建造であり、室町時代の形式を引き継いでいるとされています。



（写真7）仁科神明宮

■善光寺は、長野市内ですので、東京からの新幹線利用という手段もあります。三大善光寺といふをご存知でしょうか。甲斐善光寺（山梨県）、豊前善光寺（大分県）、長野善光寺（長野県）だそうです。我が大分県宇佐市の豊前善光寺（国重要文化財）がそれです。長野善光寺の本堂（写真8参照）内部には「お戒壇巡り」という仕掛けがあって、漆黒の闇の中を手さぐりで巡回するコースがありますので、是非お試しを。現在の本堂は宝永四年（1707）の再建で、江戸時代中期を代表する仏教建築として昭和28年（1953）に国宝に指定されています。ここの参道で「おやき」という信州独特の饅頭を頂きました。餡は野沢菜入り（写真9参照）をチョイス。なかなかのお味でした。



（写真8）善光寺本殿



（写真9）信州名物「おやき」（野沢菜入り）



# 事務局だより

## ■「新型コロナウイルス感染症関連情報」について

連合会のHPに以下の内容が掲載されております。  
ご覧ください。

1. 各種講演会に関する情報
2. 建築士試験・建築士制度に関する情報
3. 各団体等への要請等に関する情報
4. 新型コロナウイルス感染症に関する国土交通省の対応
5. 関連情報

## ■委員会活動報告及び予定

### 防災委員会

<第1回>

令和5年7月20日(木) コンパルホール  
議題

1. 今月(令和5年7月)発生の数以外対応等の報告について
2. 罹災証明に必要な住家の被害認定調査に係る技術者養成研修会について(水害等)
3. 大分県知事との「災害発生時における住家の被害認定に関する協定」に基づく対応
4. 連合会災害対策委員会「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」について

<研修会開催>

令和5年8月3日(木)令和5年度罹災証明に必要な住家の被害認定調査研修会(竹田市)

### 情報広報委員会(編集部会)

<第1回>

令和5年7月1日(土)

- ・令和5年度「建築士おおいだ秋季号 No.131」編集部会開催

<第2回>

令和5年9月9日(土)

- ・令和5年度「建築士おおいだ秋季号 No.131」編集部会開催

## ■事務局からのお知らせ

### 案内1

#### 「建築士会全国大会静岡大会」の開催について

令和5年10月27日(金)、静岡市の「静岡県コンベンションセンター/グランシップ」にて開催されます。大会のテーマは、「歴史と文化の継承 ～ローカルに生きる」です。

ワクワクする企画が盛沢山のようです。

### 案内2

#### 「監理技術者講習」の開催について

(監理技術者以外の方も受講可能)

大分県建築士会では「毎月第2水曜日」に建築工事に特化した内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。CPD6単位が付与されます。

#### 【今後の開催予定】

○「毎月第2水曜日」に開催します。

令和5年 10月11日(水)

11月8日(水)

12月未開催

令和6年 1月10日(水)

2月14日(水)

3月13日(水)

○時間：8:50～16:40〔受付8:30開始〕

※8:45～8:50の5分間に講習の運営説明があります。

○会場：(公社)大分県建築士会会議室

○形式：DVD講習

○定員：各回3名程度

○受講料：WEB申込 9,500円/

窓口・郵送申込 10,000円

※受講申し込みは、日本建築士会連合会HPよりお申込ください。

### 案内3

建築士事務所に属する建築士に3年毎の受講が義務付けられた定期講習です。令和5年度の受講対象者には4月上旬に（公財）建築技術教育普及センターより「プレ印字版」の受講申込書がご自宅宛てに送付されています。（前回3年前の講習を、（公財）建築技術教育普及センターで受講した方のみ）

#### 【受講対象者内】

前回受講年月日が令和2年4月1日～令和3年3月31日の所属建築士の方

#### 【令和5年度の開催予定】

会場が大分、中津、日田の3会場です。

また、受付窓口を建築士会、建築事務所協会で担当していますので、お間違えの無いようお願いいたします。

#### 【今後の開催予定】

##### ○日 程

令和5年 10月24日(火) (土会) /大分

11月14日(火) (土会) /日田

12月14日(木) (土会) /大分

令和6年 1月17日(水) (協会) /大分

2月 未開催

3月12日(火) (協会) /大分

##### ○会 場：大分、中津、日田の3会場

大分会场/大分職業訓練センター

中津会場/中津建設会館

日田会場/日田市AOSE 多目的ホール

※申込については、窓口申込の他、郵送での申込を受付けています。

※申込書のダウンロードについては、（公財）建築技術教育普及センターのホームページをご覧ください。

<https://www.jaic.or.jp/koshuannai/teikikoshu/kteiki/index.html>

※（公財）建築技術教育普及センターでは、講義から修了考査まで全てをオンラインで完結する「オンライン講習」も実施しています。

詳細は、こちらをご覧ください。

オンライン講習（WEB講義+WEB修了考査）

建築技術教育普及センター

ホームページ (jaic.or.jp)

### 案内4

#### 「既存住宅状況調査技術者講習（更新・新規）」の開催について

改正宅建法の重要事項説明の既存住宅状況調査をするには、この講習会を修了し、登録されることが必要です。

#### 【今後の開催予定】

##### ○新規講習

日程①：令和5年11月22日(水)

##### ○更新講習（年2回開催）

日程②：令和6年1月16日(火)

※申込方法等詳細は、（公財）日本建築士会連合会のHPをご覧ください。WEBからでも申し込みができますので、そちらもご利用ください。

#### 【オンライン学習（新規講習・更新講習）のご案内】

・インターネット環境の整ったご自宅のパソコンや職場のパソコンにて受講可能です。修了考査の解答までオンラインで完結します。

詳しくは、連合会のホームページをご覧ください。

### 案内5

#### 「<住宅リフォームエキスパート>増改築相談員研修会」の開催について

日時：令和5年11月1日(水)

場所：コンパルホール300会議室

受講料：新規 25,000円 更新 16,000円

※9月に支部を通じて案内済

### 案内6

#### 「建築物グリーン化促進事業関連会議」等の開催について

昨年度に引き続き、大分県からの委託を受け、環境に配慮した建築物の普及を図るため「建築物グリーン化促進事業推進小委員会」で検討を重ねているところです。

つきましては、次の日程で会議、研修等が開催されますので、ご案内いたします。

なお、第1回関係団体ネットワーク会議は、令和5年7月4日(火)に開催されました。

##### ○第1回技術者向け研修

日時：令和5年10月13日(金) 13:30～

場所：大分銀行宗麟館 5階会議室

##### ○第1回県民向けフォーラム

日時：令和5年11月11日(土) 13:00～

場所：別府市 ビーコンプラザ

○第2回関係団体ネットワーク会議

日時：令和5年12月頃

場所：未定

○第2回技術者向け研修

日時：令和6年1月頃

場所：未定

○第2回県民向けフォーラム

日時：令和6年2月10日(土) 13:30～

場所：臼杵市 中央公民館

### 案内7

#### 「建築甲子園 大分県大会選考会」の開催について

工業高校、高等学校、工業高専（3年生まで）を対象とした、全国設計競技会の大分大会が次の日程で開催されます。今年度の課題は「地域のくらし — まちに住む・地域に開く住まい」です。

日時：令和5年10月21日(土)

場所：iichiko総合文化センター 会議室

### 案内8

#### 「おおいたの推しの建築展」の開催について

磯崎新の追悼常設展を開催する大分市美術館と連携し、大分市まちなみ企画課と共同開催で準備を進めています「おおいたの推しの建築展」が次の日程で開催されます。多数のご来場をお待ちしております。

開催期間：令和5年10月20日(金)～11月19日(日)

開催場所：大分市美術館

### 報告1

#### 「第1回理事会」について

令和5年5月24日(水)に、コンパルホールにおいて本年度第1回理事会が開催され次の議案について審議されいづれも承認されました。

1. 令和4年度事業報告について
2. 令和4年度収支決算について
3. 代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告について

・その他報告・検討事項

### 報告2

#### 「通常総会」について

令和5年6月9日(金)に大分市コンパルホール多目的ホールにおいて開催され、次の議案について審議されいづれも承認されました。

1. 令和4年度事業報告の件
  2. 令和4年度決算の承認の件
  3. 令和5年度事業計画及び収支予算書の件
- ・その他会務報告

### 報告3

#### 「永年会員表彰式及び通常総会懇親会」について

令和5年6月9日(金)に大分市の大分センチュリーホテルにおいて4年振りの通常開催となりました。今年度の永年会員表彰対象者は17名で、出席されました4名の方を代表して新山俊則さんへ、幸会長より表彰状と粗品が贈呈されました。引続き懇親会が65名の参加により盛大に開催されました。

### 報告4

#### 「よろず建築相談員養成セミナー及びよろず建築相談会」について

令和5年7月3日(月)に、大分市コンパルホールにおいて「よろず建築相談員養成セミナー」が47名の参加（リモート含む）により開催されました。また、7月9日(日)には、建築士の日記念事業として、県下一斉に「よろず建築相談会」が開催されました。

### 報告5

#### 「建築士の集い 佐賀大会」について

令和5年6月24日(土)に、嬉野市で開催されました。研究集会では大分支部青年部の野口浩平さんと、小田部維さんが「アートプラザ建築キッズボランティアガイド育成事業」と題して地域実践活動を発表し、同率1位でしたが、ジャンケンに負け惜しくも2位入賞となりました。入賞おめでとうございます!!

### 報告6

#### 「令和5年度 第32回全国女性建築士連絡協議会(石川)」について

令和5年7月29日(土)、30日(日)に、「守り・育て・受

け継がれる技術、手仕事」をテーマに、金沢市文化ホールで、開催されました。大分県から7名の方が参加しました。

分科会では、高橋由美さん司会の下、小関公香さんが「灯台が照らします未来の道すじ」の演題で発表しました。

## 報告7

「罹災証明に必要な住家の被害認定調査研修会」について令和5年8月3日(木)に竹田市総合社会福祉センターで13時30分から開催されました。会員19名、11行政機関29名の参加がありました。

講師に本会会員の渡邊豊基氏(本会防災委員会チームリーダー)、堤寛氏(本会防災委員会委員)のお二人を迎え、調査員の技術力の維持向上を目的に、被害認定調査の基礎知識、調査実務のポイント等についての講義がありました。

いつ大災害が起きても不思議ではない近年の気象状況ですので、特に矢面に立つ行政職員に取りましては、予備知識となる有意義な研修会となったようです。

## 会務行事案内

### 【10月～3月】

#### 10月

- 8日(日) 一級・木造製図試験
- 11日(水) 監理技術者講習
- 13日(金) 第1回建築物グリーン化促進事業技術者向け研修
- 20日(金) 「おおいたの推しの建築展」開幕日(大分市美術館連携・大分市まちなみ企画課と共同開催/11月19日まで)
- 21日(土) 建築甲子園 大分県大会選考会
- 22日(日) 大分市空き家相談会
- 24日(火) 建築士定期講習会(士会)/大分
- 27日(金) 全国大会 静岡大会

#### 11月

- 1日(水) <住宅リフォームエキスパート>増改築相談員研修会
- 8日(水) 監理技術者講習
- 11日(土) 建築物グリーン化促進事業県民向けフォーラム(別府)
- 14日(火) 建築士定期講習会(士会)/日田
- 19日(日) 「おおいたの推しの建築展」最終日

(大分市美術館連携・大分市まちなみ企画課と共同開催)

22日(水) 既存住宅状況調査技術者講習(新規)

#### 12月

- 2日(土) おおいた建築セミナー(竹田)※予定
- 7日(木) 二級・木造建築士合格発表
- 14日(木) 建築士定期講習会(士会)/大分
- 25日(月) 一級建築士合格発表

#### 令和6年1月

- 1月～3月 会員増強特別期間
- 10日(水) 監理技術者講習
- 16日(火) 既存住宅状況調査技術者講習(更新)
- 17日(水) 建築士定期講習会(協会)/大分

#### 2月

- 10日(土) 建築物グリーン化促進事業県民向けフォーラム(臼杵)
- 14日(水) 監理技術者講習
- 18日(日) 大分市空き家相談会

#### 3月

- 12日(火) 建築士定期講習会(協会)/大分
- 13日(水) 監理技術者講習



**情報広報委員**

委員 長	〈豊後大野〉	高野 幸雄
委員	〈高田〉	後藤 憲二
	〈別府〉	山本 健太郎
	〈大分〉	後藤 悟
	〈大分〉	宮崎 隆博
	〈大分〉	竹宮 浩一郎
	〈大分〉	和田 恵利子
	〈佐伯〉	富松 誠
	〈日田〉	佐藤 敏孝
	〈中津〉	日高 雄介

**編集部員**

担当常務理事	〈豊後大野〉	高野 幸雄
部会長	〈高田〉	後藤 憲二
副部長	〈中津〉	日高 雄介
部員	〈大分〉	高橋 大介
	〈大分〉	樋田 瑛
	〈別府〉	小山 秀輝
	〈臼杵〉	松井 健児
	〈津久見〉	高瀬 幸伸
	〈佐伯〉	長田 孝治
	〈佐賀関〉	井上 雅順
	〈豊後大野〉	工藤 健治
	〈竹田〉	江上 禎一
	〈玖珠〉	瀧石 雅一
	〈日田〉	熊谷 高則
	〈宇佐〉	古市 憲司

**建築士おおいた**

2023.9 No. 131

(非売品)

令和5年9月27日 印刷

令和5年9月28日 発行

編集／発行所

公益社団法人 大分県建築士会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 富士火災大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

# 建築士

# おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0617	豊後高田市高田 2145 番地 1 (株)中村建材店内	0978-22-2307
国東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別府	874-0919	別府市石垣東 1 丁目 9 番 31 号 (株)幸建設内	0977-23-6231
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 富士火災大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼杵	875-0063	臼杵市大字望月 1029-11 藤澤建築設計内	0972-63-7589
津久見	879-2682	津久見市大字網代 5798-2	090-9076-7189
佐伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-22-5008
豊後大野	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 1922-1 2F 高野建設一級建築士事務所内	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日田	877-0026	日田市田島本町 4-1 野村一級建築設計事務所内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇佐	879-0444	宇佐市大字石田 13 番地の 11 (株)さとう不動産設計事務所内	0978-25-6766
本部	<a href="http://www.oita-shikai.or.jp/">http://www.oita-shikai.or.jp/</a>		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会